



みんなで子育て No.4

6月家庭教育学級の実践2

岐阜市立藍川東中学校

かけがえのない生命

(学校行事参加型+講演会型)

— 性感染症 (STD) のリスク・思春期の性・望まない妊娠・LGBT —

開催日: 6月27日(水)
講師: 古田産科婦人科
リニク: 篠原 有美 氏



- ◇今年のテーマ「共に学び、共に成長していこう」
- 思春期13歳から19歳 恋の芽生えの時期
 - ・二次性徴は子どもを作る能力ができる
 - ・親は、みんなが生まれてくるまで心配していたが、生まれてきてくれて喜んでいて
- 望まない妊娠の怖さ
 - I. STD 性感染症
 - II. 中絶後の深い傷2つ ①心の傷 ②子宮の傷
 - ・能力行使には責任が伴う、正しい知識と思いやりを持ち、正しく歩んでほしい。
- LGBT: 20~30人に一人、左利きと同じ割合
 - ・LGBTの直面する問題: 目に見えにくい、友人関係、好きな人、相談できない
 - ・大切なのはその人を尊重し、大切な命を受容してあげること。



コメント

産科医による性教育はやはり専門的なお話で納得です。思春期の性は、人としての成長であるが、リスクを知り、命を扱う思いやりが大事であること、身近な問題としてのLGBTのお話は、人どう接するかの基本に通ずるものだと感じました。

貴重なお話と先生のあたたかさやにじみ出る素晴らし講演でした。

<感想等>生徒: 恋愛をしたい。でも危険がある。今日初めて知ったことが沢山ある。学んだことをこれからも気を付けたい。愛したい人を大切にしたい。

・保護者: 知っているつもりでも知らないことがたくさんあった。ユーモアもあり、笑いどころもあったけど、子どもは真剣に聞いていた。梅毒、クラミジアの写真がありリアリティがある。これらが女性しかうつらないとも思っていたが、より学べた。LGBTはこれから社会に出てくる内容で、身近に出てくるものであり、良いお話であった。

本巣市立席田小学校

夢をかなえるコーチング的コミュニケーション

(体験活動型)

開催日: 6月27日(水)
講師: ドリームマップ普及協会・子どものこころのコーチング協会・インストラクター: 村上 桃香 氏
母親委員長自身が講師



- ゲーム (バースディチェーン) で和む
- 今は何に満足していて、何に満足していないか。過去と他人は変えられないので、自分と未来は変えられるという意識
- アサーショントレーニング(素直に伝える) 1人に対し、周りの人がその人に喜びそうな言葉を言う。言われた人は反応する。
- 夢をかなえる法則
 - ①今"I'm OK."が大事
 - ②夢=目的 途中が目標 ドリームマップ 目的が明確である事
 - ③具体的な行動を記入 1年後の自分にするため何をするかを具体的に書けるよう、言葉をかける。



コメント

講師が明るいテンポで楽しく進めます。参加者同士うれしくなる言葉を言い、両手をかざしキラキラして回る姿が微笑ましい。委員長さんやPTA会員の仲の良さが感じられました。

保護者のコーチングで子どももが+ (プラス) 思考で生活でき、"I'm OK."となる子が増えそう。

<感想等>・自分と向き合う良い時間だった。普段言われない言葉を改めて言われたり少し恥ずかしかったりしたけどうれしかった。

・人に言葉で伝えることの大切さを学んだ。目的につながる目標を明確にして、行動していかななくてはならない。

・面白い要素が入っていて、笑顔がたくさん作れた。心から笑顔がたくさん。いつも言わない言われない言葉は照れくさく、恥ずかしかったけどすごく心に響く時間でした。

岐阜市立精華中学校

薬物乱用防止教室

(学校行事参加型+講演会型)

開催日：6月30日(土)
講師：岐阜西ライオンズ
クラブ 大橋 良広 氏
ほか5名



◇今年のテーマ：みんなで支えよう！子どもの笑顔と未来
○生徒へ：たばこ・アルコールは害が強い。薬物経験者の社会復帰は極めて難しい。体は元に戻らない。
・薬物乱用とは何か 1回でも乱用である。
・始めるきっかけ：痩せる、きれいになるという誘い。
・ロールプレイ：先輩からの誘い⇒はっきり断る練習
○保護者へ：10代の大麻に関する事犯は4年で3倍に増加、ネットで大麻は大丈夫という誤った意識
●子どもを薬物乱用から守るチェックポイント
・のどが渇く ・目がギラギラ(瞳孔がひらく)等
○家族の役割 逸脱行動の誘惑に強い家庭にするには
・NOと言える子 ・サインを見逃さない親
・気になるときに事実を確かめられる親



○コメント
生徒には、薬物を誘われたら断るロールプレイで自覚を促し、保護者には別メニューで身近なところで起きる可能性があるという情報を伝えています。
知識+実感により学ぶことと、本日の内容で親子の話題としてのきっかけづくりとなっている。生徒の聞く姿、反応も良く、いいですね。

<感想等>

- ・薬物乱用について体に与える損傷などがよく分かった。ライオンズクラブの方の話の仕方が非常に親切でした。
- ・こういう悪影響があることを認識させるのも大事だが、変に興味をもたせるような情報(入手経路や種類など)を与えるのも良くないという点に考えさせられた。
- ・大麻が少年層で広がっていることなど、知らなかった情報を身に付けることができました。家庭でもどんなふうに話を聞いたのか尋ねてみようと思いました。

7月家庭教育学級の実践

7月6日(金)に山県市立伊自良北小学校の訪問が予定されていましたが、あの大雨と洪水警報で休校、今回はできませんでした。残念ですが、安全が第一です。被災された方にお見舞い申し上げます。さて私立の保育所の家庭教育学級の参観をさせて頂きました。ありがとうございました。

各務原市 鵜沼中保育所

親子で体を動かそう

(学校行事参加型+体験活動型)

開催日：7月18日(水)
講師 各務原レクリエーション協会
副会長 坂田いずみ氏
(日本3B体操協会指導士)



- 年少の活動
 - ・音楽を利用して、幼児が自然に体を動かせるように工夫がされている。幼児は活動に夢中であった。
 - ・講師は、日本3B体操のうち、ベルという道具を使い、親子2人で引っ張ってギタンパッコン、揺らしたりして音楽に合わせて、楽しく遊んだり、色をそろえるゲーム等を行った。
 - ・最後に、大きな帽子(大きな布)で、幼児が仰向けになり足を上げて、保護者が布を上げ下げして楽しんだ。
- 年中・年長の活動
 - ・年少と同様の内容であったが、ベルや布の使用(大きな帽子)は、スペースの制限があり交代で行った。交代する時にぎごちなさもあったが、(大きな帽子)はさっと切り替える素晴らしい動きができていた。



○コメント
基本音楽に合わせての体操で、子ども達が楽しく行うことができ、親子でできることがとても好評でした。先生のサポート役の保護者の方のノリが良く、良い雰囲気です。

<感想等>

- ・子どもたちの笑顔が多く、楽しくできましたと思います。私自身、手遊びの歌をあまり知らないで、今まで子どもと歌って遊ぶことが無かったので、これからはやってみようと思いました。子どもと楽しむ方法を教えていただきありがとうございました。
- ・久しぶりに1対1で集中して遊べたような気がしました。親子で楽しめました。ありがとうございました。
- ・家での遊び方のヒントにもなりました。子どもがイキイキしていて大勢で遊ぶことの意味が大きいなと感じました。

